

夕張川かわら版

「夕歩道」とは
夕張川と流域住民をつなぐ
川の道です

夕歩道

平成20年 早春

其の十一

夕張川了ルバム

夕張川上流の写真を撮ってきました。
同じ夕張川でも場所によって、さまざまな表情が見られます。
撮影日:3月7日(金)



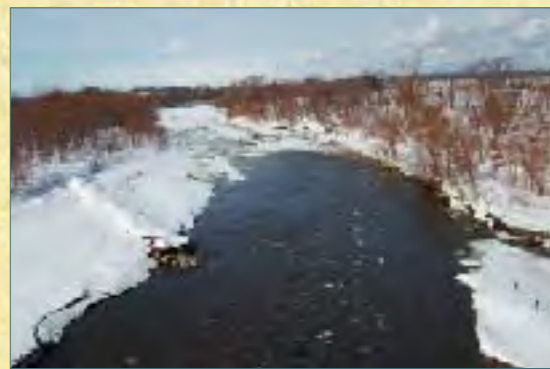
シューパロ湖の
三弦橋



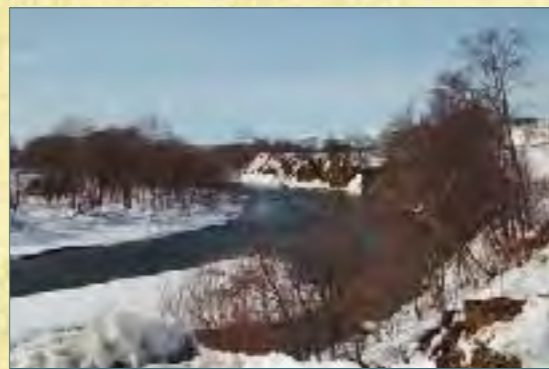
清水沢ダム上流付近 (夕張市住の江町)



清沼橋付近(夕張市沼ノ沢)



多良津橋付近



栗山町川端、円山間の夕張川



栄農橋付近 (夕張市十二里)

問 夕張川クイズ

この赤い屋根の建物はなんでしょうか。
(水の利用の歴史に関わるものです、正
解者はかなりの夕張川マニアです！)



※答えは4面最後です。



紹介文献

◎「渡し守」～由仁のむかし話 第1集、第2集～由仁町郷土資料研究会編
「鮭」(第1集 P174)、「昔 鮭の上った川」(第2集 P277)
◎「黎明の郷 角田」栗山町図書館蔵 (P56)

「昔夕張川にサケは
上がったのだでしょうか？」
～文献資料をひも解く～

夕歩道(其の十)で紹介したシンボジウム「夕張川にサケは遡上するか」では、夕張川にサケを遡上させられないかと活発な意見交換が行われました。サケが遡上産卵するには、それにふさわしい河川環境が大切です。まず、過去にサケが上がっていたのかどうかを文献資料で調べてみました。由仁町郷土資料研究会編の「渡し守」には、夕張川にもイヤリキナイ川(現在のヤリキレナイ川)でも「サケが上がっていた」という記述があります。また、栗山町図書館蔵の「黎明の郷 角田」にも、当時の生活の様子を紹介する記述の中に「サケが上がった」とあります。

アユ [アユ科]

アユは川と海を回遊する魚で、本州では代表的な川釣りの対象魚であり、重要な食用魚でもあります。地方公共団体を象徴する魚として指定する自治体も多いそうです。

体長は約30cmほどで、北海道から沖縄まで生息しています。多くの若魚は群れをつくりますが、特に体が大きくなった若魚はえさの藻類が多い場所を独占して縄張りを作るようになります。縄張りは1尾のアユにつき約1m四方ほどで、この縄張りに入った他のアユには攻撃を加えます。この性質を利用してアユを釣る方法を「友釣り」といい、本州では初夏の風物詩です。食用としては、初夏の若アユが美味とされ、若アユの塩焼きや天ぶらは珍重されます。同じ河川のアユでも水がきれいで上質の付着藻類が育つ上流域のものほど味が良いとされています。



清幌床止で撮影されたアユの“はみあと”



夕張川の生き物たち

アユといえば、四国・高知県の四万十川のような清流に棲んでいるイメージが強い魚ですが、夕張川でもその生息が確認されています。写真は清幌床止で撮影されたアユの“はみあと”(アユが石についたコケなどを食べた跡)です。

→塩焼きにして食べるのが本州では定番!



お知らせ

「川の学習手引書に関する意見交換会」が開かれました

○日時:平成20年2月19日(火)
○場所:栗山町カルチャープラザ「Eki」

今回の意見交換会では、手引書の改訂箇所の確認と改訂された手引書の、今後の続編に関する話し合いが行われました。来年度からは、マイナーチェンジされた川の学習手引書が活躍する予定でいま

《意見交換のまとめ》

- 今後も引き続き使用者からの意見を聞き、改訂の参考にさせていただきます。
- 要望に応じて必要部数を揃えられるように努めていきます。
- 使用環境を広げていくために、今後もPR活動を検討・実施していきます。
- 手引書の続編は、意見交換を続けて、今後検討していきます。



改訂された「川をよく知ろう」のページ

●川の学習手引書『たんけん夕張川学習ノート』に関するお問合わせ先
夕張川流域会議事務局(江別河川事務所調査課)
電話.011-382-2358



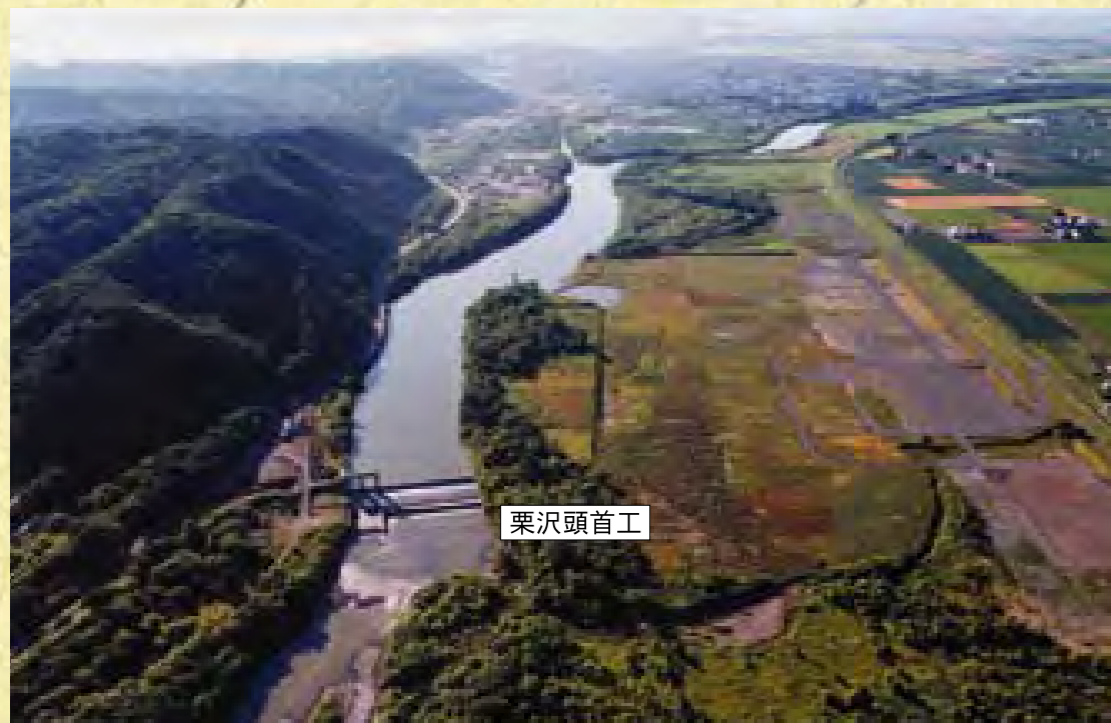
問の答え

栗山町にある南学田揚水機場

大正14年に完成した道内第一号の電化揚水機。この施設の完成により北海道大学の演習農場200haが造田されたそうです。(次号で詳しく紹介します)

《訂正のお詫び》

夕張川かわら版「夕歩道 其の十」で、一部記事に訂正がありますのでお知らせします。見出し:「夕張川にサケは遡上するか」
・関連情報3
「南幌小学校では、清幌床止で、毎年サケの稚魚放流を行なっています。」という記事がありますが、「南幌小学校は来年度より稚魚放流は実施しない」という連絡がありましたので、お知らせします。



栗沢頭首工



長沼頭首工

長幌上水道揚水機場

暮らしに関わる川の施設

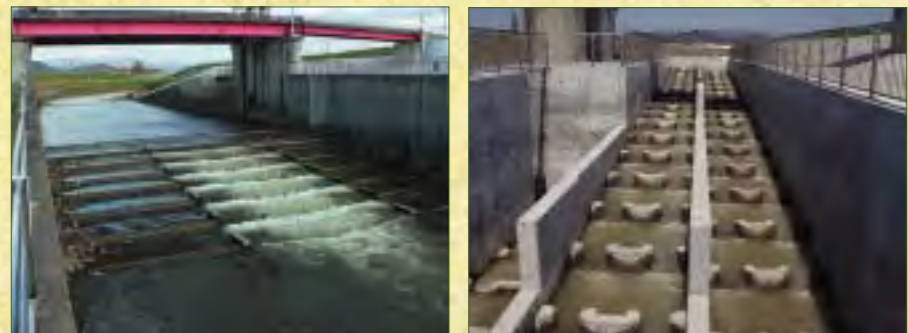


人には必要な施設でも…

私たち人間にはとても大切な頭首工ですが、魚にとっては障害になります。そこで、魚道と呼ばれる魚の通り道を設置している頭首工もあります。

幾春別川川向頭首工（岩見沢市）

かんがい期用と非かんがい期用の2つの魚道を配置。

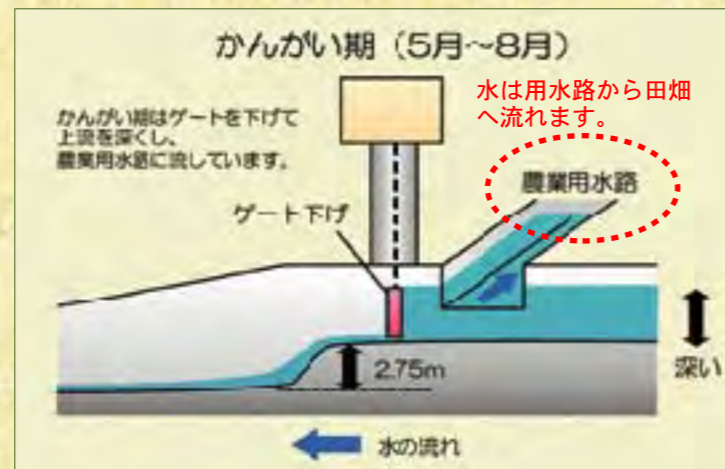


参考文献：岩見沢河川事務所「川向頭首工 魚道設置工事 事業内容」

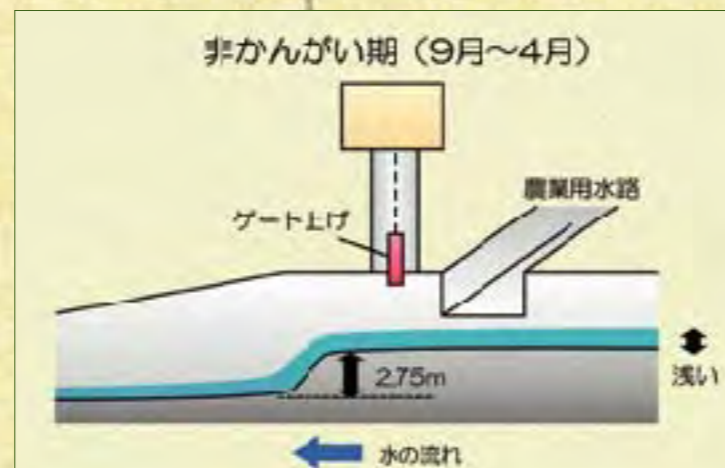


長沼頭首工

「どうしゅこう」という名前は？
川には、いろいろな施設があります。その一つに「頭首工」と呼ばれるものがあります。変な名前ですよね。どうやら語源は英語の head works を訳したもののようです。Head は水のエネルギー（水理学でいう水頭、水面の高さ、圧力、速度で規定される）を、works は構造物や施設のことです。



川の水は、用水路を通して田畑に運ばれます。頭首工により田畑に水が安定供給されます。



田畑に水が必要ない時は、ゲートを上げ、下流に水を流します。

頭首工の役割は？
頭首工は、なんのためにあるのでしょうか。

頭首工は川の水を堰き止めて、水路に水を分ける施設です。川を堰き止めることによって川の水位を上げ、農業水路に水を流して、田畑に供給します。

川と生活

第1回 頭首工

暮らしに関わる川の施設をシリーズで紹介します



○日時：平成20年3月18日(火)
○場所：江別河川事務所

「第14回 夕張川流域会議」が開催されました

今回の会議では、平成19年度における各団体からの活動報告、河川工事や環境調査の実施報告、魚道改良検討・河道掘削検討内容の紹介の他、これから流域で一体となって取り組む活動の提案などがありました。流域で一体となって取り組む活動では、河川清掃が提案され、来年度より実施される方向で検討していくことになりました。

《各団体からの活動報告》

団体名	報告内容
おっ鳥クラブ	・ 定例実施されているガン、カモ類やハクチョウの探鳥会の報告 ・ 草原性の野鳥の調査報告
夕張川なんでも探検隊	・ 栗山青年会議所と共催した「夕張川塾」の報告 ・ シンポジウム「夕張川にサケは遡上するか」の報告 ・ H20年度、サケ稚魚放流とサクラマス卵放流を計画
栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会	・ ハサンベツ、夕張川での活動報告 ・ H20年度、阿野呂川と雨煙別川で川を使った学習プログラムを計画

《河川工事と環境調査の実施報告》

平成19年度夕張川環境調査報告	・ 植物調査、鳥類調査、両生類・爬虫類・哺乳類調査、陸上昆虫類調査
平成19年度夕張川工事報告	・ 夕張川左岸江別、夕張川越後揚水機場

《魚道改良検討と河道掘削検討内容の紹介》

魚道改良検討について	・ 清幌床止の魚道改良について、概略検討の説明
河道掘削検討について	・ 清幌床止下流の河道掘削の整備イメージの説明

現在の清幌床止の魚道

